

シカの防護ネットを設置しました!! ～清水谷を守る会ほか地域と協働～

9月9日(木)、箕面国有林(通称:清水谷)において、清水谷を守る会ほか地域と協働で、シカの防護ネットを設置しました。

当日は、清水谷をまもる会(6名)、箕面の山きこり隊(2名)、事務局(1名)、京都大阪所(1名)、当センターから2名の総勢12名が参加して、周囲約100mの防護ネットを設置しました。

林道縁は、土が硬く締め固められており、まずは、大ハンマーと鉄杭で支柱の部材が打ち込みやすいように案内穴を空ける作業がとても大変でした。案内穴が開いた箇所、次から次に支柱を立てていきました。また、山の斜面は、石が多く下に落とさないよう注意しながらの作業でしたが、参加者が協力し合って、午前中には支柱とネットを張ることができました。

昼食をはさんで、午後からは、ネットの下側からシカなどの動物が潜って入らないようペグを打ち込む作業を行いました。約3時間の作業でしたが、心地よい汗をかいた一日となりました。全体調整及び点検補修については、清水谷を守る会の定例活動でお願いすることとし、現地を後にしました。今回設置した箇所においても、無事に地域の貴重な植物が回復し発生することを願っております。

なお、この箕面国有林(通称:清水谷)では、約20年前から清水谷を守る会が地域の貴重な植物をシカの食害から守るため、いくつもの防護ネットが設置されている場所になります。



設置方法の説明



作業風景(案内穴を空ける)



作業風景(支柱立て)



ネット設置の様子



設置完了



設置完了

第1回「箕面体験学習の森」育成・活用事業(Ⅱ)検討委員会を開催

当センターが環境教育等に活用している箕面国有林(大阪府箕面市)内にある「箕面体験学習の森」の具体的な育成及び活用等について検討するため、学識経験者、森林ボランティア活動関係者及教育関係者による専門家委員8名で構成された検討委員会を、毎年度2回程度開催しているところです。

今年度第1回目を、9月16日(木)、午前10時から12時までの2時間、箕面国有林にある「体験学習の森」で開催しました。当日は、専門家委員6名、大阪府行政関係者1名、当センター4名の総勢11名が参加しました。

当センターからは、「令和4年度からの整備実施計画の作成」、「台場クヌギし立て試験の成育状況」、「森の探検隊百人一首コースの設定」、「箕面体験学習の森内に生育している小中学校教科書掲載植物のリスト作成と今後の取組」、「花の谷エリア周辺の整備」などについて、各担当者から説明を行い、各委員から助言指導を頂きました。

専門家委員からは、「台場クヌギの1本が枯損しているのは、被陰の影響から樹勢が弱っていたため枯損したものである。クワガタなどの棲み家として利用するとの説明表示をした上で残してはどうか。」、「小中学校教科書掲載植物のリストは良くできている。どの学年の教科書に掲載してあるのかを載せるとさらに良い資料となる。」、「ウシガエルの捕獲駆除の罠籠に利用しているペットボトルのウキは変更した方が良い。」と言った多くの助言や発言を頂きました。



台場クヌギの保管方法についての助言

専門家委員から頂いた意見や助言を踏まえ、地域住民やボランティア団体の協力を得ながら体験学習の森の整備等に取り組むこととしています。

専門家委員から頂いた意見や助言を踏まえ、地域住民やボランティア団体の協力を得ながら体験学習の森の整備等に取り組むこととしています。



事務局からの説明



花の谷周辺の整備についての説明



箕面体験学習の森の整備方針を再確認